

第20回定時株主総会

2021年6月25日に当社第20回定時株主総会を開催し、2020年度決算および新取締役選任が承認されるとともに総会後の取締役会において新役員体制および業務分担が決定しました。



新役員体制および業務分担

役職名	氏 名	業務分担
代表取締役社長	湊 好 男	
常務取締役(新任)	神 元 智	技術営業部長
常務取締役(昇任)	儀 保 稔	総務部長
取 締 役	成 底 勇 人	
取 締 役	林 弘 之	
監 査 役	小 橋 川 健 二	

長崎取締役、崎濱取締役退任

本総会終結の時をもって、長崎取締役および崎濱取締役が退任されました。



(左:崎濱取締役、右:長崎取締役)

■2020 年度決算について

【売上高】

主力のガス供給事業は、販売量の減少(前年度比△7.8%)および単価下落(同△15.5%)により、2,196百万円(同△22%)となりました。また可倒式風車事業は、前年度のトンガ案件の竣工による反動減により、52百万円(同△83.8%)となりました。この結果、売上高は2,337百万円(同△28.3%)となりました。

【収益】

減価償却費の減少等により、経常利益は11百万円と黒字化しました。

■2021 年度収支見通しについて

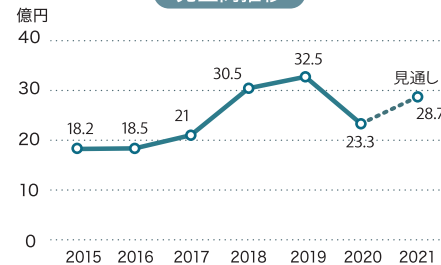
【売上高】

ガス供給事業は供給量の増加により2,222百万円(前年度比1.2%増)の見通しです。加えて、大型の非常用発電機設備の納入等寄与により、売上高は、2,871百万円(同22.9%増)と増収の見通しです。

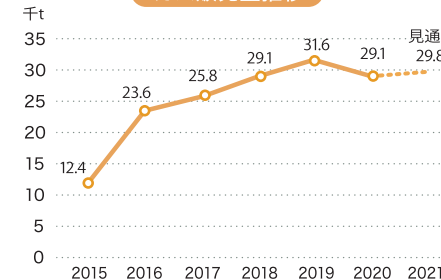
【収益】

経常利益は売上増加に伴い、165百万円と大幅に増益となる見通しです。

売上高推移



ガス販売量推移



社員紹介

技術営業部 ガス業務課

西 浜 宏 治

(にしはま ひろはる)

■学歴 琉球大学 工学部 電気電子
工学科 2003年3月卒

■入社 2018年5月1日

■主な資格

・ガス主任技術者(甲種)
・電気主任技術者(2種)
・環境計量士(濃度)
・公害防止管理者(大気1種、水質1種)
・情報処理技術者
(情報セキュリティスペシャリスト)
他多数



▲首里古式行列の赤冠衣装

Q1 入社の動機を教えてください。

沖縄にUターンしてからはコンクリート関係の分析試験などをしていましたが、設備系の仕事がしたいと思っていたので、ちょうど求人募集のあったPECに応募しました。

Q2 仕事内容について教えてください。

設備の能力選定・検証などの設計業務に加えて、工事の現場確認や、監視装置・通信機器の保守をしています。また私は牧港天然ガス供給センターおよび非常用発電機の主任技術者に選任されていますので、保安業務面も担当しています。ガス設備全体を幅広く視ています。

Q3 仕事を進める上で気をつけていることはありますか。

沖縄に戻ると決めた時から、沖縄の産業の育成に役立つような技術の提案ができるよう日々精進することを心がけています。運営、そして後進の指導のためにも国家資格などに積極的に挑戦し、取得してきました。

Q4 仕事のやりがいについて教えてください。

技術職の専門分化が進む昨今、私のような総合型はとすれば中途半端な面があるかもしれませんが、全体を俯瞰的に見られるのは自分の性格的にも合っているので好きです。

Q5 趣味を教えてください。

車の運転が好きで、数年ぶりにマニュアル車を買いましたが、未だにクラッチの繋がりが上達しません。

Q6 地域貢献活動は何かしていますか。

近年は地域貢献として首里城の古式行列(琉球王朝祭り首里)に参加するようにしています。国王や王妃のために日差しを遮るミサーナー(大掌扇)役として参加しました。

当 社 業 務 紹 介

《第6回目》

【技術営業部 電機課】可倒式風車事業の定期点検(波照間島編)

当社は県内4島に可倒式風車を建設し、点検や補修等を冲電より受注しています。

今回は、6月14日～29日に実施した波照間島での定期点検(6ヶ月点検)作業を紹介します。

＜担当: 田仲颯介さんの一言＞

今回は、私を含め4人で風車点検業務を行いました。作業の中で、ボルトが共回りして緩まなかったり、工具を空回りさせたりと、ボルトを外す作業だけでも様々な気づきがありました。作業場は屋外のため、30℃を超える過酷な環境でしたが、点検後に風車が稼働したとき、これまでの疲れが吹き飛ばす程、「この大きな設備に携わることができた」という達成感を感じることができました。

お土産に購入した地元の銘酒「泡波」は、父に大いに喜ばれました。



▲各結合部のトルクチェック



▲作業前ミーティング

編 / 集 / 後 / 記 /

◎ 4月に2名の新人が入り、オフィスの雰囲気も若々しくなったと感じるのは私だけでしょうか。自分の子供の成長を見るように2名が社会人として日々、成長していくのを目の当たりにするのは、出勤時の楽しみでもあります。でも、いつまでもフレッシュな感性だけは失わないで下さい。(M)

◎ 最近買った本で、「壺に何を入れるか」という優先順位の話が興味深かったです。最初に重要度の低い物(砂)から満たしていくと、本当に重要な物(大きな岩)が入れられなくなるという話です。欲張りかもしれませんが、私は大きな岩がいっぱい入る大きな壺が欲しいです。(K)

01【訓練】

ガス漏洩時における処置訓練

5月27日に漏洩訓練を実施しました。腐食により穴が開いたガス管からガス漏れが生じた想定で行われました。今後も様々な訓練を通して、保安技術の向上を図ります。

<参加した上石将暉さんのコメント>

本番さながらの訓練に参加でき、実際の現場でも素早く処置できる自信ができました。



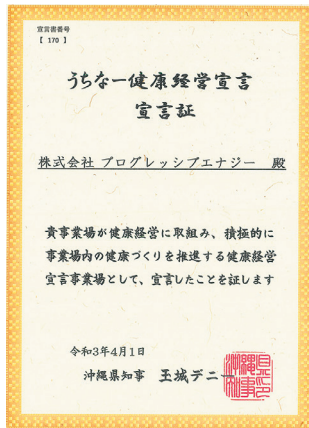
▲漏洩処置作業の様子

03【健康宣言】

「うちなー健康経営宣言証」を収受

当社は、役職員およびその家族が心身ともに健康であることが不可欠であるとの考えの下、2020年9月に「ひやみかち健康宣言」を実施しました。

今般、県内関係機関が協定を締結し、「うちなー健康経営宣言」にスローガンを統一したことを受け、4月1日付で、県より改めて宣言証を受領しました。



▲うちなー健康経営宣言 宣言証

05【新事業】

シードおきなわ合同会社への出資

当社は4月30日に、沖電グループの強みを活かした再生可能エネルギー技術の海外事業展開を目的とする『シードおきなわ合同会社 (SeED Okinawa LLC)』を沖電および当社を含む沖電グループ5社と共同で設立しました。当社は、トンガ王国への可倒式風車の納入実績で得られた知見を生かし、海外事業の更なる推進を目指します。



▲ロゴマーク

社名のシード(SeED)は、持続可能なエネルギー開発(Sustainable Energy Development)に由来しており、「おきなわ」から世界へ「持続可能なエネルギー開発の種をまく」ことをミッションに掲げています。

02【社外研修】

新入社員研修

4月5日～6日に、新人2名が株式会社経営支援センター主催の新入社員研修へ参加し、主に社会人のビジネスマナーやコミュニケーション、メモを取ることの重要性等を学びました。

<田仲颯介さんのコメント>

新入社員研修で学んだことをすぐに実践していこうと思います。「伸びる新入社員の条件」で学んだ『素直であること』『周りとの協調』『健康であること』の3つは、すぐに実践できるので取り組んでいきます。

<前代竜樹さんのコメント>

2日間学んだことをこれから実践していくと共に、1日でも早く業務を覚え、私に任せても大丈夫だという人材になり、同僚・お客さまに頼られる人(社会人)となれるよう、日々精進して参ります。



▲研修の様子

04【環境月間の活動】

中城湾海岸清掃

6月18日に、環境月間の一貫として、吉の浦海岸沿いを清掃しました。

<参加した川上壮一さんのコメント>

海洋プラスチックごみが想像以上に多かったのですが、いつも見ている海岸がきれいになって良かったです。



▲清掃に参加した当社メンバー

06【ボランティア活動】

中城村一斉清掃

5月16日(日)に、毎年春と秋に実施される中城村一斉清掃において、地元泊区の清掃活動に当社から過去最高となる17人が参加し、地元の方との交流を深めました。



▲清掃に参加した泊区の皆さんと一緒に

新 役 員 紹 介

常務取締役
技術営業部長
神元 智



写真中央本人

【経 歴】

- ・1989年4月 沖縄電力(株)入社
- ・2013年7月 同 電力本部 発電部 火力業務センター長
- ・2015年7月 同 電力本部 発電部 電源開発室長
- ・2018年7月 同 電力本部 発電部 牧港火力発電所長
- ・2019年7月 同 電力本部 発電部部長
- ・2021年6月 当社 常務取締役

◎ 沖電入社の動機

物を作るのが好きで将来は大きなものを作りたいという希望があり、大学では建築工学を専攻しました。就職先を考えている時に沖電で火力発電所の建設計画の新聞記事を見つけ、応募しました。

◎ 沖電入社以降の想い出深い出来事

大学での専攻もあり、沖電では主に発電所の建設に携わりました。具志川火力発電所では数件の設備を担務し、設計業者と請負業者の方と品質管理、工程管理などの調整の中で知識や技術を得ることができ貴重な経験でした。

金武火力発電所では許認可を担務し、埋立申請では当時の運輸省の担当者と難しい調整を行ったことが印象に残っています。

07【社外表彰】

安全衛生活動表彰

「全国電力関連産業労働組合総連合2021年度年間安全衛生キャッチフレーズ」の募集において、総務部の前黒島奈緒さんが沖縄電力総連特別賞を受賞しました。

【キャッチフレーズ】

「ご安全に!!」声かけあって安全作業

<前黒島奈緒さんのコメント>

声掛けで「安全」に対する意識を高め安全作業の定着が図れると良いなと思い応募しました。まさか選ばれるとは思っておらず驚きました。「本日もご安全に!!」

▲賞状受賞の様子
(左:総務部前黒島奈緒さん、右:沖縄電力総連 松原委員長)

吉の浦火力発電所ではメーカー折衝、関係先との調整など、大変厳しい状況もありましたが、計画どおり運開できた時には感慨深いものがありました。

◎ 自分の性格

こだわらない性格だと思っています。物事を少しでも前に進めようという気持ちで業務を行っています。

◎ 趣味、余暇の過ごし方

趣味はスポーツ観戦と音楽鑑賞で、スポーツ観戦は野球、ゴルフ、サッカーなどスポーツ全般を観ます。高校野球は野球場に足を運んで観に行きます。音楽は演歌以外を聞きます。ゴルフはコースにもたまには行きますが、スコアは一向に良くなりません。(コロナで約1年は行ってませんが・・・)。

◎ PECに対する印象

沖縄の特殊性を考慮した可倒式風車を全国に先駆け手掛けるなど、時代の流れを先取りした事業展開をしているイメージがあります。

◎ PECでの抱負

社員の皆さんはコスト低減、業務効率化など、いろんなことを工夫しながら頑張っていると思います。辛い仕事もあるかもしれませんが、後ろ向きにならずに前へ前への気持ちで進めていきましょう。総合エネルギー事業の一翼としてガス事業、風力関連事業を積極的に推進し、長い年月と時間をかけて築き上げたお客さまとの信用という資産を、微力ではありますが皆さんと一緒に守っていきたいと思います。

◎ モットー

全力投球という言葉が好きで一度決めたら最後までやり遂げることを心掛けています。

08【社内表彰】

国家資格合格表彰

国家資格の消防設備士乙種4類^(※1)に合格した知名俊英さんと第一種電気工事士^(※2)に合格した西野立志さんの表彰を行いました。

<知名俊英さんのコメント>

この度、消防設備士乙種4類の資格を取得することができました。この資格は、消防法において非常電源を設置した自家用発電設備について、点検者は消防設備士免除の交付を受けている者が行うことと定められています。今回、資格を取得したことで、客先に対し今まで以上に的確なアドバイスがご提案できるものと考えています。

<西野立志さんのコメント>

この資格の試験自体は高等学校在学中に合格し、可倒式風車部門に3年所属・作業に従事したことから、無事に取得することができました。電気工事等の腕を磨き、早く先輩方に追いつくよう努力します。

(※1) 自動火災報知設備等の点検・整備に従事することができる資格。

(※2) 自家用電気工作物(最大電力500kW未満)等の需要設備の電気工事に従事することができる資格。

▲国家資格合格表彰者
(左から知名俊英さん、西野立志さん)